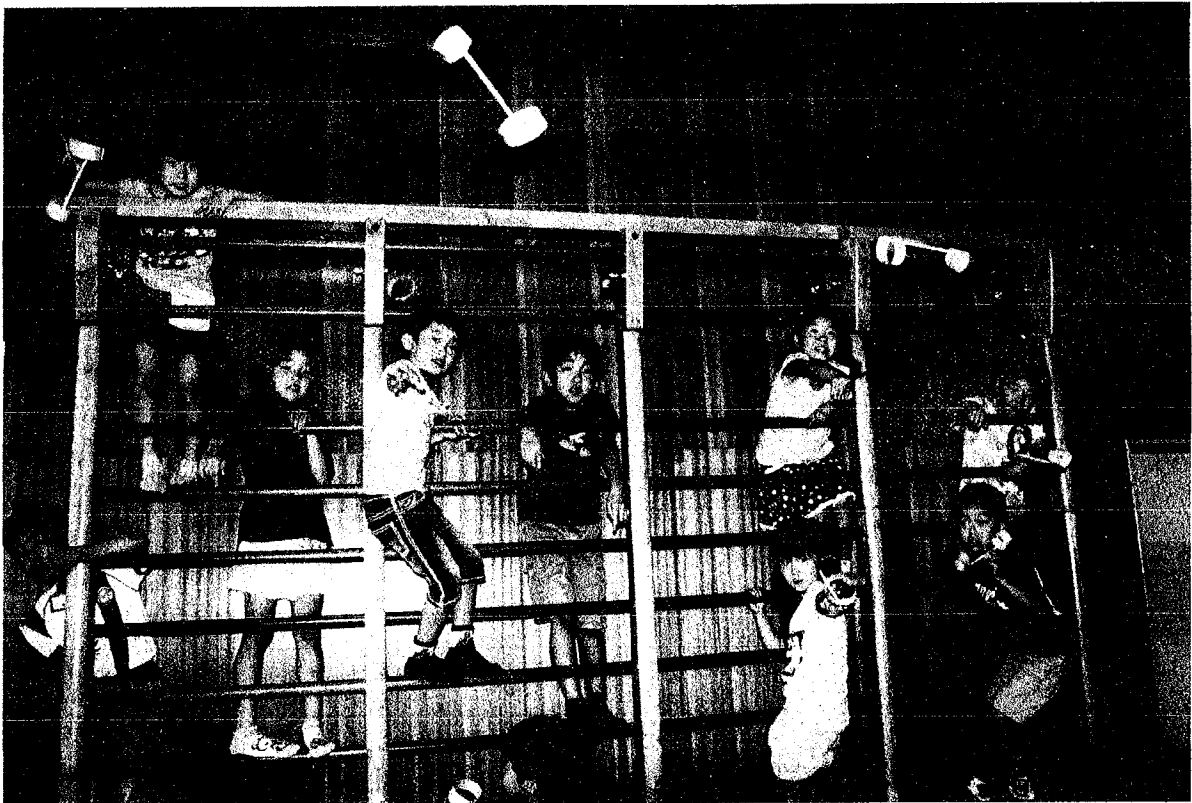


26年度 清洲放課後子ども教室



26年度登録者数

1年 98名(男 53 女 45) 2年 114名(男 49 女 65) 3年 81名(男 43 女 38)

合計 293名 (男 145 女 148)

めあて

・「きまりを守りましょう」「なかよく遊びましょう」「進んで学習しましょう」

日 課

	月	火		水	木	金	
	1～3年	1年	2・3年	1～3年	1～3年	1・2年	3年
3:00～3:45	学習	学習		学習	学習	学習	
3:45～4:00	外遊び (集団遊び)	集団遊び		外遊び (集団遊び)	体育館遊び (集団遊び)	外遊び (集団遊び)	
4:00～4:15	自由遊び	外遊び 自由遊び	学習	自由遊び	自由遊び	自由遊び	学習
4:15～ 5:00	(体育館遊び)		自由遊 び	(体育館遊び)		(体育館遊 び)	自由遊 び

※ 学習の時間は、宿題・自作プリント・読書などに充てる。

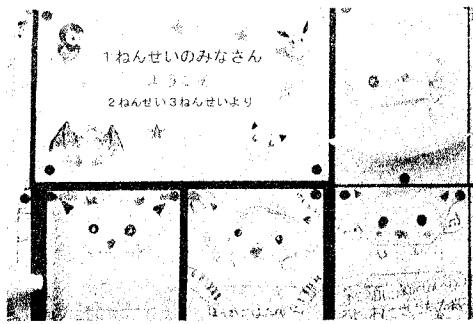
※ 1学期間はオセロ大会、2学期間は将棋大会、3学期間は囲碁大会を実施している。(学期末に表彰)

※ 物作り教室を、月に2回程度実施している。(1週間継続)

※ 来室の早い日は、ビデオ視聴を組んでいる。人数の多い日は、隣の多目的室を借用している。

※ 体育館の空いている日は使用させて頂いている。

※ 次ページに本年度の主な活動を紹介。



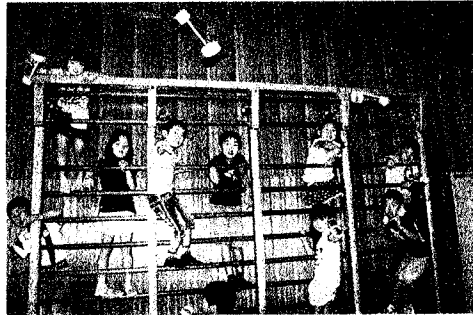
4月24日～ ウェルカムカード



5月15日 とぶさかな



5月29日～ 紙皿ユーホー



6月17日～ リングひこうき



9月11日 くるくるリング



10月9日～ かさぶくろロケット



10月30日～ 吹き矢



11月18日～ ストローロケット



12月 クリスマスツリー



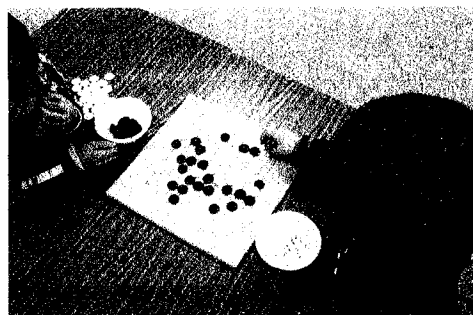
12月10日 クリスマスカードづくり



12月18日 ハッピーハッピー読み聞...



ぱっくんキャット 2月12日～



囲碁大会 3学期

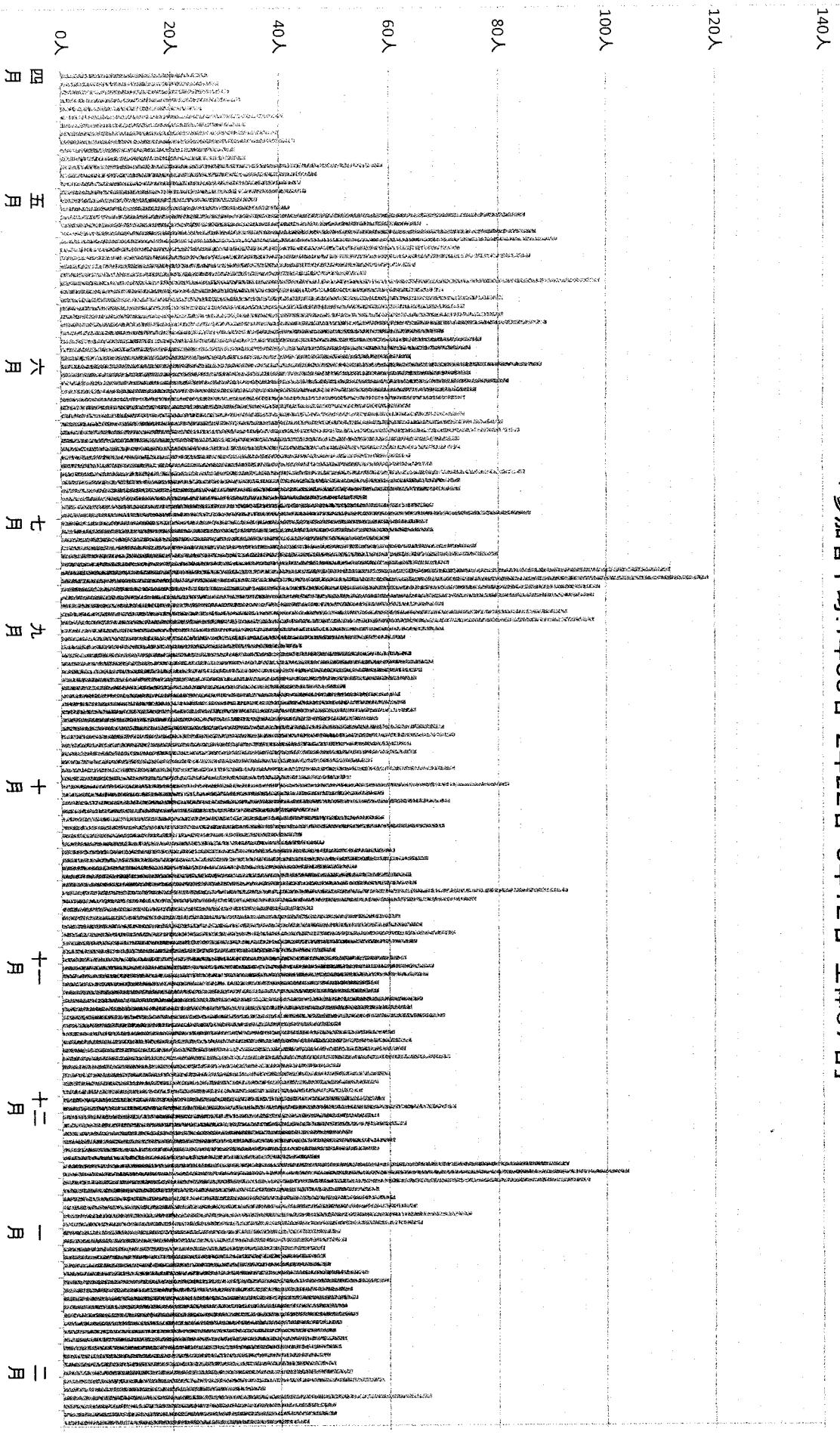


紙コップシューター 1月28日～



将棋大会 2学期

26年度 清洲子放課後ども教室参加状況(4/9～2/12)
 「参加者平均:1年33名 2年22名 3年12名 全体67名」



<現状>

○ 参加状況

- ・ 清洲放課後子ども教室は、今年度（26年度）で開設5年になりますが、登録人員は、22年度 90名、23年度 170名、24年度 241名、25年度 275名、そして今年度は、293名となりました。
- ・ 参加状況は、1日平均、22年度 36名、23年度 48名、24年度 57名、26年度 70名、今年度は現在のところ、67名です。
- ・ 一日の最高参加人数は、22年度 57名、23年度 100名、24年度 122名、25年度 125名でしたが、今年度は、119名です。
- ・ 事故発生状況（保険利用者）は、22年度 1名、23年度 1名、24年度 2名、25年度 5名、今年度は現在3名です。
- ・ 今年は、昨年度に比べ、登録人数は増へたものの、利用者は若干減りました。年度当初、部屋に子ども達が入りきれぬか心配し、学習テーブルの数を増やしましたが、比較的余裕がありました。（多いことに慣れたのかもしれません。）
- ・ 毎日通って来る子は勿論いますが、週に1・2度、3・4度、月に1・2度などバランスよく通って来てくれて、曜日によっても参加人数が偏ることはあまりありませんでした。やや、今年は、例年と違って、一斉下校の木曜日が一年を通して、一番少ない状況でした。
- ・ 季節による参加者数は、12月以降（日没が早く、寒い時期）減少。毎年同じ傾向にあります。

○ 使用施設

- ・ 「清洲放課後子ども教室」で学習できるスペースは、80名程が限度です。その人数を超える日は、隣室の「多目的教室」を借用しています。
- ・ 子供たちは外遊びが大好きなので、天気の良い日は30分~45分程、運動場の周りや遊具等で自由に遊ばせています。
- ・ 体育館は、部活動のない木曜日や、使用していない時間帯（部活終了時刻の早い冬場等）に使用させて頂いています。
- ・ 学校施設（運動場・体育館）の利用できない日など、時に、清洲公園へ行きます。

○ 指導体制

- ・ 基本的には3人体制（木曜日は4人体制）です。100人を超える特別日課の日は4人体制です。

○ 問題点

- ・ 下足入れ・ロッカーの不足。
- ・ 忘れ物・落とし物・靴や傘のまちがい等が多い。
- ・ 日々に子どもたちが遊んだり作ったりする時の材料や、物づくり教室の材料は、手軽で、種類豊富で、値段の安い「100円ショップ」で買うことが多い。また、ビデオは、子どもの要望に応じて、レンタルショップでしばしば借りています。「掛売り」では対応できない現実があります。

※ 子ども教室の運営にあたって、学校が協力的なのでとても助かっています。（甘えないように気を付けています。）